

事業報告

活動名	日本技術士会東北本部岩手県支部平成28年度年次大会講演会 『東北・岩手の再生可能エネルギー』 (CPD 番号 28-2)
主催	公益社団法人 日本技術士会 東北本部 岩手県支部
日時	平成28年6月24日(金) 16:00~17:00
場所	エスポワールいわて(盛岡市中央通1-1-38)
参加人数等	40人

活動内容

1. 講演会の概要

(1) 東北・岩手の再生可能エネルギー

(講師：東北自然エネルギー株式会社 加藤修氏 技術士(応用理学・建設・総合技術監理部門))

講演では東北・岩手の再生可能エネルギーについて分かりやすく説明された。一次エネルギー投入量のうち有効に活用されているのは33%にすぎず損失量が多い話や、岩手県の一帯あたりの電力消費量約300KWh/月は、電子レンジを使い続けている事と同等とのことで、大変分かりやすい説明であった。また将来I L Cが立地した時の消費電力は16万KWと予想されており、それは現在の岩手県の半分の電力量に匹敵することに驚いた。

地熱発電では、岩手県の松川地熱が51年目を迎え半世紀を過ぎている。地熱発電は初期投資が大きいランニングコストで燃料代がかからない分、松川地熱では収益が出ているそうである。地熱発電では、蒸気をそのまま使用する「フラッシュ発電」と低い温度でも蒸気を出せる「バイナリー発電」があり、岩手県内では八幡平周辺にフラッシュ発電の立地が多いが、バイナリー発電の技術革新により、新たな立地箇所の可能性もあるとのお話が大変興味深い内容であった。



村上支部長の挨拶



司会をされた出口企画委員長



講演する加藤氏



会場の様子